



〈区分〉	主変ラジエター
〈工種〉	稼働設備洗浄試験
〈種別〉	強酸性クリーナー
〈タイトル〉	ハルト
〈撮影箇所〉	
〈説明〉	<p>洗浄試験着手前現況。 周囲環境の影響による 飛来物付着経年放置に より、ラジエター表面に 汚染物が付着している 状態。 ワイアーブラシ等の清 掃では除去不可能。</p>



〈区分〉	主変ラジエター
〈工種〉	稼働設備洗浄試験
〈種別〉	強酸性クリーナー
〈タイトル〉	ハルト
〈撮影箇所〉	
〈説明〉	<p>強酸性クリーナー・ハル ト塗布。</p>



〈区分〉	主変ラジエター
〈工種〉	稼働設備洗浄試験
〈種別〉	強酸性クリーナー
〈タイトル〉	ハルト
〈撮影箇所〉	
〈説明〉	<p>塗布30分後、ウェスに て表面を拭取り後の状 態。 付着物が溶解分解され ているのが確認され る。</p>



〈区分〉	主変ラジエター
〈工種〉	稼働設備洗浄試験
〈種別〉	強酸性クリーナー
〈タイトル〉	ハルト
〈撮影箇所〉	
〈説明〉	塗布1時間経過後、清水噴霧による洗浄状況。 下地塗膜層に影響を与える事無く、又、稼働設備に影響する事無く安全な作業にて汚染付着物の洗浄作業が効率良く図られた。



〈区分〉	主変ラジエター
〈工種〉	稼働設備洗浄試験
〈種別〉	強酸性クリーナー
〈タイトル〉	ハルト
〈撮影箇所〉	
〈説明〉	表面に付着した汚染定着物が熔融分解され、仕上塗膜層が健全な状態で確認される。



〈区分〉	主変ラジエター
〈工種〉	稼働設備洗浄試験
〈種別〉	強酸性クリーナー
〈タイトル〉	ハルト
〈撮影箇所〉	
〈説明〉	未着手箇所との比較状況。 強酸性クリーナー・ハルトの熔融分解力にて汚染付着物が洗浄され、汚染下地より既設の健全な塗膜が確認される。



〈区分〉	主変囲み版
〈工種〉	稼働設備洗浄試験
〈種別〉	洗浄クリーナー
〈タイトル〉	ハルト・スペースショット
〈撮影箇所〉	
〈説明〉	特に汚染付着物が酷く付着固化した状態の箇所での、洗浄試験未着手現況。



〈区分〉	主変囲み版
〈工種〉	稼働設備洗浄試験
〈種別〉	洗浄クリーナー
〈タイトル〉	ハルト・スペースショット
〈撮影箇所〉	
〈説明〉	強酸性クリーナー・ハルト塗布。 他の箇所同様、ワイヤーブラシ等の清掃では除去不可能の箇所であるにも関わらず、塗布後即座に反応し溶融している状態。



〈区分〉	主変囲み版
〈工種〉	稼働設備洗浄試験
〈種別〉	洗浄クリーナー
〈タイトル〉	ハルト・スペースショット
〈撮影箇所〉	
〈説明〉	正面右側がハルト塗布洗浄後、更にスペースショットにて分解洗浄した状態のもの。 左側はハルトのみの汚染付着物洗浄状況。 共に清水洗い流しのみ。



〈区分〉	蒸気保護板
〈工種〉	稼働設備洗浄試験
〈種別〉	強酸性クリーナー
〈タイトル〉	ハルト
〈撮影箇所〉	
〈説明〉	本対象物は通常、塗膜保護により保護されるべきものであるが、常時90℃の温度が負荷となり、新設後1~2年程度にて塗膜が熱害により剥離消失し発錆の進行が問題となっている。



〈区分〉	蒸気保護板
〈工種〉	稼働設備洗浄試験
〈種別〉	強酸性クリーナー
〈タイトル〉	ハルト
〈撮影箇所〉	
〈説明〉	90℃の温度負荷が掛った状態にて施工後、表層面に防錆反応層が形成され発錆の抑制が機能的に働いている状態が確認される。 試験施工約1年経過の状態。